

令和6年度 学校教育自己診断結果および分析

資料 1

● 実施時期 令和6年11～12月

● 回 答 生 徒：63名（12名減） 保護者：10名（1名増） 教職員：16名

※昨年度：生徒：75名 保護者：9名 教職員：16名

1. 生徒の自己診断結果(今年度質問項目を少し変更したため、昨年度の結果は統合したものを掲載)

○肯定率が90%を超えている項目(18/26) 肯定的意見(回答A・Bの合計)(%)		R5	R6
6	教え方にさまざまな工夫をしている先生がいる。	94.6%	96.8%
21	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	93.3%	96.8%
7	授業では評価の仕方や基準について事前に示されている。	新規	95.2%
18	個人情報についてプライバシーが守られている。	95.9%	95.2%
26	教室・特別教室・運動場などは、授業や生活がしやすいよう整備されている。	94.6%	95.2%
14	(部活動に入っている人だけ回答⇒)あなたは部活動に楽しく取り組んでいる。	78.9%	94.7%
2	この学校には、他の学校にない特色がある。	94.7%	93.7%
10	先生は、いろいろな問題を見逃さず対応してくれる。	97.3%	93.7%
13	学校は、みんなが楽しくおこなえるよう学校行事を工夫している。	97.2%	93.7%
3	学校は、生徒の意見をよく聞いてくれる。	94.7%	93.5%

※上位10抜粋

○肯定率が90%以下の項目(8/26) 肯定的意見(回答A・Bの合計)(%)		R5	R6
1	学校へ行くのが楽しい。	82.7%	76.2%
5	授業で自分の考えをまとめたり、発表することがある。	80.0%	76.2%
23	授業や部活動での活動を通して、地域の人々と関わる機会がある。	75.7%	77.0%
17	教室以外に、保健室など落ちつける場所がある。	80.0%	78.7%
9	学校生活について先生の指導には納得できる。	93.2%	79.4%
4	授業はわかりやすく楽しい。	92.0%	85.7%
16	担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる。	89.3%	86.9%
20	学校は、進路についての情報を知らせてくれる。	91.9%	88.7%

- ・半分以上の項目において肯定率が90%を超えている。「14」の項目については15%以上も肯定率が上昇し、部活動へ参加している生徒が楽しく活動に取り組んでいることが分かる。また、「6・7・14・2・13・3」の項目を高い数値を示しており、教員とのコミュニケーションをとることができていたり、命や社会のルールを学ぶ機会、学校行事への工夫を生徒自身が感じることができている。
- ・教員の結果の「7. カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導」や「15. 学校行事や部活動が魅力あるものとするために工夫・改善している」、「17. 人権尊重の姿勢に基づいた生徒指導」の項目の教員肯定率は100%であるため、教員が取り組んでいることがしっかりと生徒へ伝わっていると考えられる。
- ・肯定率が低い項目でも最低値は「1. 学校へ行くのが楽しい」で76.2%だった。しかし、今年度は例年に比べ生徒の出席率も下がっており、「4. 授業はわかりやすく楽しい」も含めて昨年度よりも5%以上も肯定率が下がっているため、学校や授業を楽しんでいる生徒の割合が減少し、出席につながっていないことがわかる。一方で「2. 他にはない学校の特色がある」「10. 問題への対応」「13. 学校行事の工夫」などの肯定率は高いので特色を生かしつつ生徒たちが学校へ行くのが少しでも楽しいと感じるような学校づくりや授業づくりへの工夫や改善をしていく必要がある。
- ・「9. 先生の指導には納得できる」の項目も昨年度よりも10%以上も減少し、79.4%となった。一方で「3. 学校は生徒の意見をよく聞いてくれる」の項目は93.5%と高い数値を示している。この回答結果では生徒と教員のコミュニケーションの不足ではないかと考えられる。生徒が納得いく指導の工夫・改善を教員が高めていく必要がある。

2. 生徒、保護者、教職員の診断結果の比較

○肯定率の5%以上高くなった項目

生徒：14. あなたは部活動に楽しく取り組んでいる。<94.7%>

保護者：ほとんどの項目(13/20)で5%以上上昇した

教職員：1. 学校の教育活動について、教職員で日常的によく話し合っている。<100%>

19. いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており迅速に対応することができる。
<100%>

20. 校長は自らの教育理念を明らかにし学校運営にリーダーシップを発揮している。<100%>

21. 学校運営に教職員の意見が反映されている。<100%>

22. 教職員の適性・能力に応じた校務の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。
<87.5%>

31. 研修の成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。<81.3%>

○肯定率の低い項目・5%以上低くなった項目

生徒：1. 学校へ行くのが楽しい。<76.2%>

4. 授業はわかりやすく楽しい。<85.7%>

9. 学校生活について先生の指導には納得できる。<79.4%>

保護者：7. 学校は、進路に関して、家庭への連絡や意思疎通を、きめ細かく行っている。<70%>

教職員：3. 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。<93.8%>

11. 生徒指導において、家庭との緊密な連携ができています。<93.8%>

14. ホームルーム活動を主としたクラス経営の改善に学校全体で取り組んでいる。<62.5%>

32. 個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。
<93.8%>

- ・教職員の結果で肯定率が100%の項目が17/32となっており、昨年度低かった項目も工夫・改善がなされ、肯定率が上昇している。しかし、上記4つの項目については肯定率が減少している。教職員の「14. クラス運営の改善」の項目、保護者の「7. 進路に関しての家庭との連携」の項目についても大きく下がっている。それに伴い、生徒の大きく肯定率の下がった項目である「1・4・9」に影響したではないかと考えられる。この項目の改善をはかれるよう年次を中心にチームとして組織的に指導できるよう工夫や改善が必要である。
- ・桃谷高校定時制としての独自性や特色の肯定率は生徒<93.7%>、保護者<100%>、教職員<100%>と高い数値を示しているため、今後も独自性や特色を生かすことができるよう学校づくりやカリキュラム編成、授業づくりに努めていく必要がある。